

ひとり語り

伸ちゃんの さんりんしゃ

作	児玉 辰春
脚色	林 昭弘
ひとり語り	林 昭弘
チェロ	伊藤 哲次
ピアノ	小玉 好行

◆と き：平成21年9月27日（日）
13：30～14：30

◆ところ：県立広島大学広島キャンパス
大講義室兼講堂
（広島市南区宇品東1-1-71）

◆参加費：無料（申込不要）

◆問合先：県立広島大学地域連携センター
Tel082-251-9534

◆主催：県立広島大学

◆お願い：

- ・2歳未満のお子さんのご入場はご遠慮ください。
- ・公共交通機関をご利用ください。



● あらすじ ●

1945年、3歳の伸一は、隣のきみちゃんと絵本の中の三輪車を見るのが大好きでした。食べるのがやっとの戦争中、三輪車を買うことなどできるはずがありません。が、ある日のこと、入隊するおじさんが古い三輪車を持って来てくれました。大喜びの伸一ときみちゃんは、8月6日の朝も、三輪車で仲良く遊んでいました。そして、閃光が…。

● 以前の上演時の子どもたちの感想 ●

- ◇「人の命を大切に思うこと」が戦争をなくすことの第一歩だと思いました。
- ◇未来にこんな悲しいことがおこらないように、次の世代に62年前の出来事を伝えていかないといけないなあ、と思いました。
- ◇家族の大切さが一番強くこころに残りました。
- ◇一人語りがこんなに平和・命の大切さをうたえることができるということに、とても感動しました。その場面にあう、とてもすばらしいチェロの音も、うたえているように聞こえました。
- ◇悲しき、苦しきがとても伝わり、かんだうがとまらないほど、いきもぴったりですごい！と思いました。

● 出演者プロフィール ●

林 昭弘（演出家・AKI演劇研究所代表）

1948年初舞台。1970年「友達」（安部公房作）、「夜の来訪者」（広島県芸術祭）、「夕鶴」、「ラブソングが聞こえる」、「わが町」などの舞台や、テレビ、ラジオ出演多数。脚本、演出などもこなす。

「伸ちゃんのさんりんしゃ」は1992年、NHKスペシャルの中で朗読出演、その後、2001年に舞台用に脚色した「ひとり語り」をチェロ演奏と共演したことがきっかけとなって今日に至る。

伊藤哲次（広島交響楽団チェリスト）

5歳よりチェロを始める。1978年国立音楽大学入学。在学中より室内楽等、多数の演奏会に出演。1988年、広島交響楽団に入団し、オーケストラの他、幅広いジャンルで演奏活動を行っている。

小玉好行（県立広島大学教授）

東京芸術大学声楽科卒業。オペラの他、ソロ・リサイタル、ジョイント・リサイタル、各種コンサート等に出演。「あたらしいーお・う・た」として、オペラや音楽劇の作曲も行う。